

令和7年度第3回川崎市農業振興計画推進委員会議事録（摘録）

- 1 開催日時 令和8年2月4日（水）15時00分～17時00分
- 2 開催場所 川崎市都市農業振興センター（高津区梶ヶ谷2-1-7）3階会議室
- 3 出席者
 - 出席委員（14名）
橋口委員（会長）、梶委員、志村委員、薙澤委員、矢崎委員、秋元委員、松澤委員、萩原委員、小湊委員、米山委員、福本委員、武田委員、藤木委員、山中委員
 - 川崎市（6名）
都市農業振興センター所長（齋藤）、農業振興課長（川口）、農地課長（久延）
農業技術支援センター所長（地引）、農業振興課農政係長（辻）
農業振興課農政係（上岡）
- 4 議題（公開）
 - (1) 開会
 - (2) 報告 川崎市農業振興計画（案）の策定に対するパブリックコメント手続の実施結果について ～速報版～
令和7年度主要事業の報告・令和8年度の方向性
現行の「川崎市農業振興計画」の総括
令和7年度及び8年度のスケジュールについて
 - (3) 閉会
- 5 傍聴者
なし
- 6 会議の内容（摘録）
 - (1) 開会
【川崎市：辻係長】
本日は、大変お忙しい中、「川崎市農業振興計画推進委員会」にご出席頂きまして、ありがとうございます。農業振興課の辻でございます。
委員の半数以上の出席が会議の定足数となりますが、本日は委員16名のうち14名にご出席いただいておりますので、会議の定足数を満たしておりますので、会議を開催いたします。最初に、都市農業振興センター所長の齋藤より、ご挨拶させていただきます。

【川崎市：齋藤所長】

齋藤所長より挨拶

【川崎市：辻係長】

続きまして、お手元の資料確認ですが、次第、名簿、席次以外の添付資料は、次第に一式を記載しております。不足しているものがありましたら、事務局までお声かけ下さい。

なお、この委員会は、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づきまして、会議の傍聴ならびに議事録による公開を原則としておりますので、ご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、本日傍聴者はいらっしゃいません。

それでは議題を進めさせていただきます。橋口会長に議長を務めていただき議事進行をお願いしたく存じます。よろしく願いいたします。

（２）報告

【橋口会長】

皆様こんにちは。本日もよろしく申し上げます。

それでは議題に入ります。

『川崎市農業振興計画（案）の策定に対するパブリックコメント手続の実施結果について～速報版～』について、事務局から説明をお願いします。

【川崎市：辻係長】

資料１に沿って説明。

【橋口会長】

ご説明ありがとうございました。

説明内容について委員からご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

【福本委員】

前は何件くらいパブコメがあったのでしょうか？

【川崎市：辻係長】

前は５通１６件ほどでした。今回は倍以上になりました。

【福本委員】

コメントをいただいた方の内訳はどのような感じですか。農業者が多いのでしょうか？

【川崎市：辻係長】

資料４ページ下段に記載がありますが、農業者の方が一番多いです。
今回周知にあたってＪＡの皆様にご協力いただきチラシを配布しました。

【橋口会長】

他にご質問いかがでしょうか。

【小湊委員】

先ほど、ＪＡの方にチラシを配布いただいたということでしたが、前回よりも多くのパブコメが集まったのはそういう取組があったからなののでしょうか？もしくは、他に何かを行ったのでしょうか？

【川崎市：辻係長】

前回はどのように周知したか不明ですが、チラシ・メルマガ・ＳＮＳといった持てる限りの手段を使ってパブコメのご案内をしました。そういったことが結果に繋がったのではないかと思います。前回はＳＮＳもそこまで盛んではなかったと思いますので、広報媒体が増えた点も要因であると思われる。

【橋口会長】

他にご質問いかがでしょうか。
特になければ、次第を進めます。
令和７年度主要事業の報告・令和８年度の方角性の説明を事務局からお願いします。

【川崎市：川口課長、久延課長】

資料２に沿って説明。

【橋口会長】

ありがとうございます。
では続けてこのまま続けて現行の「川崎市農業振興計画」の総括についてご説明をお願いします。

【川崎市：上岡】

資料３に沿って説明。

【橋口会長】

説明ありがとうございます。

このまま続けて令和7年度及び8年度のスケジュールについてご説明をお願いします。

【川崎市：辻係長】

資料4に沿って説明。

【橋口会長】

説明ありがとうございます。

まず資料2について、質問や意見等ございましたら、お願いします。

【小湊委員】

資料2-2掲載のフォーラムに関しては今年度で終わるとのことですが、何らかの形で周知されているのでしょうか？チラシを見てもその辺りは記載が無いようです。

【川崎市：川口課長】

今回のチラシではそういった記載はありません。計画案を報告しているので川崎市としては外に発信している認識です。

【橋口会長】

フォーラムを完全に辞めると言い切ってしまうと、今後なにか意見が出て再度開催ということが難しくなるのではないかと思います。今後、例えば、形を変えて開催という可能性はあるのでしょうか。

【川崎市：川口課長】

今後は農商工連携事業として行うことは難しいですが、他の事業等で要望があれば予算措置をして開催することは可能です。

【小湊委員】

最近スマート農業が浸透ってきて、スタートアップも出てきています。今後形を変えて、新しい連携事業を検討してみたいです。

【橋口会長】

他にいかがでしょうか？

【武田委員】

資料２－３についてご質問です。こちらは事前に予算取りをされていて、農業者から申請を受けて交付決定をしたものなのでしょうか？

【川崎市：川口課長】

補助の決定額になります。

【武田委員】

他の農業者からも申請が来た場合はどうなるのでしょうか？

【川崎市：川口課長】

申請の期間を設けております。申請期間が終了した場合は翌年度に改めて申請いただく形になります。

【武田委員】

スマート農業関係の機器に関しても補助があるのでしょうか？

【川崎市：川口課長】

補助対象です。

【萩原委員】

補助率はどのくらいなのでしょうか？

【川崎市：川口課長】

認定農業者と認定農業者になろうとしている方が対象になっております。
５０％以下の補助率となっております。

【萩原委員】

上限はどのくらいですか？

【川崎市：川口課長】

生産向上等支援事業については、１件につき２００万円です。

【萩原委員】

神奈川県からの補助はありますか？

【川崎市：川口課長】

ございます。

対象になるものや補助率は川崎市とは異なっています。

【山中委員】

神奈川県補助事業では補助率は50%にはなりません、スマート農業や今まで取り組んでいなかった新しい事業に挑戦する場合にも補助します。

【萩原委員】

農業の経営革新に補助があることは良いと思います。

気づいた時には申請期限が過ぎていたというケースも多いかと思いますが、周知の方法について色々ご検討いただければと思います。

【山中委員】

事業への補助に関しての周知方法には検討の余地がございますので、より良い方法について検討していきたいと思います。

【福本委員】

農業経営高度化支援事業の全体像が知りたいです。

何件申請を想定し、申請はどの程度だったのでしょうか？予算の消化率も併せて教えてください。

また、特定生産緑地指定申出箇所数が見込みより多く、面積割合も高かったと言われていますが、想定申請数に対して、どれくらい申請してきているのか等お教えいただければと思います。

最後に、農商工連携に関してですが、マッチングは今後も続けていくとのお話でしたが、窓口を明確に設けているのでしょうか？行政と近い方は少なく、私がパブコメをお願いしてもなかなか引き受けていただいている方は少なかったです。明確に窓口があった方が皆さま問い合わせしやすいと思います。

【川崎市：川口課長】

農業経営高度化支援事業に関しては、事業を完了していない案件もあるため、補助額を確定してはませんが、概ね想定予算額を執行見込みです。

【川崎市：久延課長】

特定生産緑地に関してですが、平成8年に生産緑地に指定されたものは令和8年度までに特定生産緑地に指定することが可能となっております。その割合は98.6%でした。川

崎市としてはできるだけ多く指定していただきたいと考えておりますが、生産者のご意向もありますので100%を達成することは難しいです。

【川崎市：川口課長】

農商工連携に関しては、窓口らしい窓口は用意しておりませんが、農業振興課にご連絡いただければ随時ご対応しており、今後も継続します。

【橋口会長】

他にご意見ありましたらお願いします。

【米山委員】

2-1の資料に新規就農者が6人とありますが、その内訳はどのような感じなのか？

【川崎市：川口課長】

非農家の新規参入者が6人です。1人20代の方がいらっしゃいますが、概ね40～50代くらいの方が多いです。

【橋口委員】

電話及び相談等による新規参入相談が38件あったとのことですが、川崎以外の市町村の農地も探しているのか、それとも川崎をピンポイントで希望しているのかどちらなのでしょう？

【川崎市：川口課長】

この38件というのは本市に何らかの形でアクセスをいただいた方です。他都市も希望しているものの、川崎や横浜も検討している方も多くいらっしゃいます。

【橋口委員】

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか？

特になければ資料3についてご質問お願いします。

【橋口委員】

そうしましたらまず私から質問させていただきます。

川崎市の場合は目標達成度を表現する際には1が最高評価で5が最低評価といった基準があるのですか？

【川崎市：川口課長】

これは農業振興計画の評価のオリジナルです。

この計画は28年度に策定したため、市総合計画の事務事業評価シートの評価形式とは異なっています。

【福本委員】

給食での市内産農産物の活用についてご質問です。

農家さんが事業を続けるためには販路拡大が重要になってきます。農家さんから気候変動の影響でたまねぎが小さくなってしまい、給食の規格に合わず使ってもらえなかったという話を聞きました。農政部門とJAと教育委員会で協議をしていただき、そういった規格の緩和をしていただきたいと思います。

【川崎市：川口課長】

この件にはおっしゃる通り課題がございましたので、今年度JAと教育委員会と農政部門で連携して、まず農家さんが給食センターに視察に行きました。朝納入された農産物を短時間でカットしてお昼の給食に間に合わせるためには規格が揃った野菜でないと受け入れはできないという現状を理解していただきました。逆に農業の現場をJAの協力のもと、給食センターの方に見ていただきました。お互いに農業の現場と給食作りの現場を理解していただきました。それぞれの言い分はありますが、今後、市内産農産物の給食使用量増加に向けて協議を続けていくことになっています。

【福本委員】

そういったことも解決している他都市のセンターもあるので、成功事例を基に話し合っ
てほしいです。

【齋藤所長】

野菜の種類によって色々やり方はあると思います。JA・教育委員会・農政部門で意見交換は継続していますので、引き続き検討してまいります。

【橋口会長】

他にいかがでしょうか。

【武田委員】

かわさきそだちへの認知度に関してご質問です。

登戸マルシェについては、市の広報によく掲載されておりますので存じ上げております。市の南部でのPRが今後の課題かと思えます。武蔵小杉や川崎駅で開催するのは難しいの

でしょうか。市の南部での活動が難しい理由や課題の打開策をお教えてください。

また、市民農園も目標は達成していると聞いています。川崎市内の区別の内訳はどうか教えてください。北部の多摩区や麻生区の市民農園の面積は増えているかもしれませんが、中原区や幸区辺りは減少傾向にあります。今後の展望等ございましたらお教えてください。

【川崎市：川口課長】

南部でのPRに関してですが、昨年度川崎市の新本庁舎でのPR活動を行いました。南部在住の方や、転入されてきた方への認知度は低いということは明確になっております。これを踏まえ、令和8年度以降の計画では南部での認知度向上の必要性について記載しております。また、来年度のかわさき農業フェスタは南部で開催する予定です。マルシェなど農産物の直売については、実態としては、労働時間が長い傾向にある農業者が南部まで農産物を運ぶのは難しいところもあります。

【武田委員】

川崎市本庁舎は遠くて行くのが大変なので、ターミナル駅で開催するのがよいのではないかと思います。

【梶委員】

毎月第一土曜日にラゾーナでセレサモスが出張販売しております。そういった取組はJAでもやらせていただいております。その他には、JAの大師支店でも開催しておりますので、認知度向上に努めているところです。

【川崎市：川口課長】

市民農園についてお答えします。川崎市の市民農園はほとんどが市街化区域内にありまして、農地所有者様の意向で閉園が続いているところがございます。平成時代に法改正があり、自治体やJA以外の民間企業が主体となって市民農園を開設できるようになりました。このため、農業者を含む民間の区画貸し農園が増えています。民間で対応できる場所は民間でというのが市全体の方針としてございますので、市で開設する農園は縮小しつつ、農業者を含む民間の農園開設を支援する方向になっています。北部に農地が偏っているため、北部に市民農園が偏っています。ただ、南部に市民農園ニーズがあることは把握しております。南部の公園で一部、区画貸しではなく、共同で農作物を栽培する場所はありますが、本市では区画貸農園は今のところありません。区画貸農園ができないか建設緑政局に投げかけをしているところです。

【武田委員】

農園を借りる料金が民間は高いです。そこで市の開設を待ち望む人がいます。

【川崎市：川口課長】

市としてもコストを職員で賄っていますが、労力負担が大きいので、今後開設するとしても民間企業に委託して開設という流れになるのかなと考えています。検討中です。

【橋口会長】

他にいかがでしょうか。

【福本委員】

16ページの下段の『まちのはたけとなかよくなろう』の絵本に関して確認がございます。1,000部発行していたようですが残部はありますか？

【川崎市：川口課長】

印刷したものは既に在庫がありませんので、HPのデータの印刷をお願いする形となります。

【小湊委員】

13ページと15ページに関してご質問です。

川崎市内の工業従事者はスマート農業関連の企業も多いです。農研機構から様々な補助を受けてスマート農業を推進しており、色々なシステムが普及しています。市が農業従事者への技術指導を行う中でAIやロボットを周知する情報提供の機会があるのでしょうか。補助を申請するにもベースとなるスマート農業への知識がないとできないのではないかと思います。

【川崎市：地引所長】

農業技術支援センターは技術指導の拠点ということで、農業者のみなさまに情報提供を行う機会がございます。2年前に草刈りロボットを梨園に導入しました。JAが主催の講習会の際に紹介をしたり、電動農機具の紹介等を行っております。技術は日進月歩ですので、我々も新しい情報取得に努め、新しいものが入ったら取り入れて講習会等でご案内したいと考えております。

【橋口会長】

他にいかがでしょうか。

【藤木委員】

先ほど話題となったかわさきそだちの認知度向上について色々と考えておりました。

私は麻生区在住です。新百合ヶ丘駅でJA主催のマルシェが月に1回ございまして、午前

中のうちにほぼ完売してしまいます。私はかわさきそだちを意識しているので、勿論認知しているのですが、なぜ認知度が低いのかを考えてみました。

先日、栃木的那須塩原に出張に行きました。道の駅に様々なお菓子にイチゴの『とちあいか』が入っていますという記載がありまして、とてもよく売れていました。那須塩原で生産されたイチゴに消費者が価値を感じていて、おいしいブランドだというイメージがあるので、それを企業が菓子里に混ぜると売上が上がるのだと思います。

かわさきそだちに関しても消費者が買うメリットや価値がどこにあるのかという点が重要だと思います。安心安全や新鮮さが大きいと思いますが、その部分を大きくPRできる場所を作るのが消費者に刺さる部分なのではないかと思いました。

冒頭で広報媒体が増えたと聞きましたが、若い世代が検索エンジンを使わずにSNSやAIで検索する方も増えています。そういったものをどんどん活用されるのが良いと思います。

【橋口会長】

他にいかがでしょうか。

【秋元委員】

かわさきそだちの料理教室を開催しているあかね会の秋元です。

認知度が目標を下回ったのは予想外でした。小中学生のかわさきそだちの認知度は高いのではないかと思います。大学生から時々お話を聞かせてほしいと連絡をいただきますが、それは卒論のデータだけになってしまうことが多いです。小中学生ですと何かを作ったり研究したりするには限度があります。大学でしたら、研究室の方と一緒に商品開発までこぎつけられるのではないかと思います。そういったことに期待しております。

【橋口会長】

川崎市は人の流動性が高いのではないのでしょうか。東京の企業や大学に通勤通学する際に家賃の関係で川崎市に住むという方も多いです。川崎市内に住んでいる期間が短い方が多いので、繰り返し広報が必要なのではないかと思います。

【橋口会長】

他に意見ございますか。

では、続きまして資料4に関してご質問等ございますか。

【橋口委員】

そうしましたら、全体を通してご質問等ございましたらお願いします。

【福本委員】

資料の20ページに計画の位置づけが掲載されております。川崎市の総合計画と各計画の間にみどりの将来像を位置付けることになりました。2024年の川崎市制100周年の際に緑化フェアを開催し、みどりのKAWASAKI宣言を行いました。この宣言を計画に落とし込んで川崎を緑のまちにしていくという将来像がまとまった経緯があります。資料を見ますと21ページにネイチャーポジティブやグリーンインフラといった文言が記載されております。既にみどりの将来像が落とし込まれているという認識で問題ないでしょうか。

【川崎市：齋藤所長】

おっしゃる通りで、我々も建設緑政局と連携し、ネイチャーポジティブやグリーンインフラといった文言を計画に入れております。元来農業施策は防災農地の推進や学校教育の推進等の通常取組を推進していくことがネイチャーポジティブに繋がっているという認識です。元々緑は必要という認識の中で農業施策を推進しております。

【橋口会長】

他になにかご意見ございましたらお願いします。

今回の議題に関わらず農業に関することで意見等ありましたらお願いします。

【小湊委員】

資料の13ページで農業技術支援センターの更新について記載がございます。常に最新の情報を仕入れてアップデートしていくというのは難しいと思います。全ての業務を役所の職員が担うのは難しいと思います。民間の指定管理等も検討していますか？

【川崎市：地引所長】

公共施設を建て替えるには民間の意見を聞くことが求められています。今後、そういった機会をとらえて民間の知見を取り入れるとどういったことができるのか幅広く伺いながら検討していきます。

【橋口会長】

他になにかございましたらお願いします。

【矢崎委員】

畑に水道を引き込む許可は農地課で下りるのでしょうか。

【川崎市：久延課長】

農業用であれば井戸を作ることも可能ですし、水を引き込むことも可能となっております。

【橋口会長】

他になにかご意見ございましたらお願いします。

【福本委員】

生協に提供している農家に災害時に対応するための基金がございます。
なにかあれば生協でお金を渡したり、ボランティアで土砂や木を運んだりもいたします。これから災害等色々あると思いますが、市としてなにか支援メニューはございますか？

【川崎市：久延課長】

災害時は国の方で災害復旧事業がございます。
要件に合致すれば、農地関係では川から水を引くための支援もあります。災害に関しては国の手当てが充実しております。川崎市が国の支援の窓口を担います。

【梶委員】

J Aにも農業共済がございます。状況に応じて支援がございます。

【橋口会長】

皆様ありがとうございました。本日の議題は以上となります。
進行を事務局に戻します。議事進行にご協力ありがとうございました。

(3) 閉会

【川崎市：辻係長】

本日はありがとうございました、冒頭お話し致しましたが3月に総務委員会を挟みまして、年度内に次期農業振興計画の策定予定となっております。次回の会議は来年度の夏頃を予定しております。開催日が決定しましたら、ご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

農業振興計画策定後、計画はHPに掲載いたします。また、製本化もする予定ですので、製本化したものを来年度第1回の委員会で委員の皆様に配布予定です。

事務連絡は以上となります。

本日は以上をもちまして「令和7年度第3回川崎市農業振興計画推進委員会」を閉会いたします。